

## ①血盟記念碑 Blood Compact Marker

フィリピンを統治し、初代総監となったスペインのレガシドの艦隊は、セブ同様にボホールにも寄港しました。1565年3月16日、マゼランのセブ上陸から44年後のことです。ボホール島の酋長シナカツとレガシドは、腕をナイフで傷つけ、ワインに血を落とし、互いに飲み干すことで友好を誓い合いました。実際にはスペインによる支配を受け入れた形になります。その時の儀式の様子が記念碑として残されたものです。よく見ると、両者の腕の間にナイフで切った傷が刻まれています。



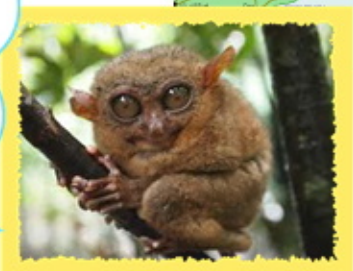
## ②バクレイヨ教会 Baclayon Church

1595年スペイン人によって建てられたフィリピン最古の教会のひとつ。現在の建物は、サンゴを切り出した石と木、セメントの代わりに使われた卵白で出来ています。サン・ニーニョ(幼きイエス)像や18世紀に流行した緑と金メッキのバロック式祭壇、シンプルなステンドグラス窓と宗教画などが見られます。1935年に作られた立派な鐘と鐘楼がありましたが、2013年にボホールを震源とするマグニチュード7.2の地震により倒壊してしまいました。



## ③ターシャ観察区域 Tarsier Conservation Area

世界最小級霊長類メガネザル。フィリピンではボホール・ミンダナオ・レイテ・サマルの4島に生息。体長10~15cm、目が大きく、体長よりも長い尻尾が特徴です。ストレスに非常に弱く、捉えられると頭をぶつけて自殺することもあるデリケートな動物です。ターシャ観察区域では熱帯林が茂る山中を歩きながらターシャを見ることが出来ます。ターシャに触れたり、フラッシュ撮影は禁止されています。



GOOD  
オリジナル

# 観光ツアー



## ④ロボック・リバークルーズ Roboc River Cruis

船上フーティングレストランでのフィリピン料理buffetランチ。食事が終わるとブサイフォルまでの往復リバークルーズです。のんびりとした風景と、途中ロボックレックジの人たちによる歌とパングーダンスをお楽しみいただけます。



## ⑤マン・メイド・フォレスト Man Made Forest

ターシャ保護区からチョコレートヒルへ向かう途中に森の中を抜けます。この地域は以前森林伐採をしすぎたために、ひどい洪水が起こり大きな被害が出ました。洪水を防ぐために植樹され、人口の森、マン・メイド・フォレストができました。ナチュラル・マイナスイオンを体いっぱい浴びてください。



## ⑥チョコレートヒル Chocolate Hills

高さはどれも30~50Mほどの丘が1000個以上も並んでいます。雨の少ない4~6月にかけてチョコレートブラウンに変色することからチョコレートヒルと呼ばれています。世界中でもボホールだけの奇形です。丘の大部分は石灰岩で貝殻が出土されているので、大昔は海の底だったのかも知れません。海底火山が噴火したか、干上がった海底が風化した。または海底隆起説なども考えられていますが、どのようにして出来たかは未だに謎のままです。展望台への階段が214段、頑張って上がりましょう!

